

小学部

題材・教材名【体づくり運動】 領域・教科【生活単元学習】

- ね ① 室内で楽しく体を動かす機会を設ける。
ら ② 音楽のテンポに合わせて自分の体の動きを調整する力を付ける。
い ③ 台の上でバランス良く立ったりしゃがんだりする力を付ける。

写真



はじめは児童が高さに不安を感じることなく取り組めるように、薄い木の板で練習した。

10 cmの台を2つ重ねて使用している。体を上手く動かすににくい児童でも自分でしゃがんだり、台の上で回ったりできるように、面積が広い台を使用した。



台の上でできるようになった児童は、ウレタン素材の平均台でチャレンジ。足下が不安定のため、自分でバランスを取る力がより必要となる。

教材使用方法

- ・Foorinの『パプリカ』に合わせて踏み台昇降を行う。
- ・曲の途中で台の上でしゃがんだり回ったりする動きを取り入れる。
- ・巧技台とウレタン素材の柔らかい平均台の2種類を用意して、児童の実態に合わせてどちらを使うか選択することができるようにする。

児童・生徒の様子など

- ・リズムが一定でテンポもゆっくりであり、子ども達もよく知っている曲のため、Foorinの『パプリカ』を使用した。
- ・音楽に合わせて体を動かすことや、台の上で様々な姿勢を取ることでバランス感覚を鍛えることを目的として行った。
- ・始めは動きが分かりやすいように、教師も児童と一緒に平均台で踏み台昇降を行い、手本を示した。
- ・始めは薄い木の板で行っていたが、ある程度高さのある台の方がしっかり足が上がるのが分かり、台を変更した。台に高さがあることによって、「あがる・さがる」の動きが明確になり、児童も理解できるようになってきた。
- ・始めは台の上でしゃがんだり回ったりすることが苦手で教師の補助を必要とする児童が多かったが、回数を重ねるうちに少し手を添えるだけの児童や、補助を必要としない児童が出てきた。
- ・教師の「あがる・さがる」の言葉がけをよく聞くように声をかけると、音楽や教師の言葉がけに合わせて動きができる児童が出てきた。
- ・使う道具の準備や片付けも進んでできる児童も増えてきた。台を2つ重ねたまま運んだり、回りに気をつけながら長い平均台を運んだりすることでも、体の使い方を身に付けることができている。

